

岩手県金融経済概況（2023年5月）

1. 概況

県内経済は、一部に弱さがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、下げ止まっている。設備投資は、減速しつつある。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、下げ止まっている。この間、生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は、全体としてみれば改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、下げ止まっている。

公共工事請負金額（2023年5月）は、2ヵ月連続で前年を下回った（前年比△16.4%）。

設備投資は、減速しつつある。

2023年3月短観（岩手県）における2023年度の設備投資は、2022年度の製造業における大規模な能力増強投資の一巡などから、全産業ベースで前年度比減少する計画となっている（前年度比△50.1%）。

個人消費は、緩やかに回復している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2023年4月）は、2ヵ月振りに前年を上回った（前年比+1.2%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2023年4月）は、引き続き前年を上回った（同+7.2%）。また、新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞：2023年5月）は、引き続き前年を上回った（同+20.7%）。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に緩やかに回復している。

住宅投資は、下げ止まっている。

新設住宅着工戸数（2023年4月）は、3ヵ月振りに前年を下回った（前年比△16.4%）。内訳をみると、分譲（同2.0倍）は前年を上回ったものの、持家（同△9.2%）、貸家（同△46.9%）が前年を下回った。

3. 生産動向

生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。

鉱工業生産指数（季節調整値：2023年3月）は、2ヵ月連続で前月を下回った（前月比△0.8%）。主な業種の指数をみると、食料品などが上昇した一方、電子部品・デバイス、情報通信機械などが低下した。

四半期の動きをみると、2023/1～3月は2期振りに前期比上昇した（2022/7～9月：前期比+5.7%、10～12月：同△6.8%、2023/1～3月：同+1.5%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、全体としてみれば改善している。

有効求人倍率（季節調整値：2023年4月）は、1.23倍と5ヵ月連続で前月を下回った（2023年3月：1.25倍）。

雇用者所得（県内合計値：2023年3月）は、常用雇用指数（前年比+3.0%）、名目賃金指数（同+1.9%）とも前年を上回る中で、引き続き前年を上回った（同+5.0%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2023年5月）は、引き続き前年を上回った（前年比+3.4%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2023年5月）は、8件、負債総額1,501百万円となった（前年同月は3件、負債総額360百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2023年4月）は、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2023年4月）は前月に比べて低下した。

以 上

お問い合わせ：
日本銀行盛岡事務所
019-624-3622

<ホームページ>

